

マサトランでの日食報告

マヤ・アステイカ遺跡と西海岸観光旅行（日食観望付き）

千葉 香夜子

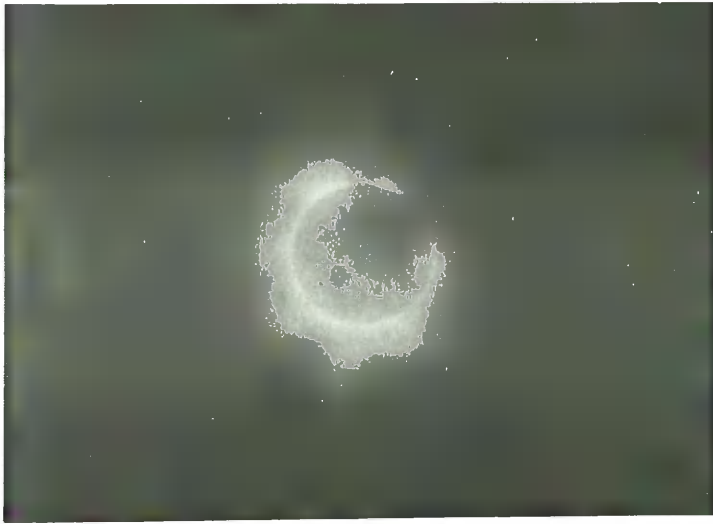
平均年齢51才、知り合いだけに声をかけ、集まった物付き16名（札幌天文同好会員5名、子供2名）3年半前に計画を立てたが、ラバスのホテルがとれない為、メキシコ本土では条件の良いマサトランに決定した。

7月9日札幌を立ち、ロサンゼルスで市内観光し、10日昼快晴の中マサトランに入る。ホテルはカミノ・リアル・マサトラン。市内の北5kmにあるリゾート用高級ホテル。ロビーには、日食情報、天気図など張りだされていた。宿泊客は、スカイアンドテレスコープのツアー客約150名（日本人1名）。ラバスとは衛星通信で情報交換しており、過去数日の天候が悪いということで、中心線近くに約70名移動した。（観測成功）他に個人旅行の日本人2名が宿泊していた。私達のツアーは天候に関係なくホテルの屋上で観測することにしていました。夕方になり雲が多くなっているのが気になりながら赤道儀の極軸合せをした。

日食当日の朝、空全体に雲が広がり、西はスコールがきているのがわかる。10時気温33°札幌に比べ何という熱さだ。ツアー全体の機材は、私の6.5cmP2型赤道儀の他に、400mm2台、135mm2台、ファミスコ1台、業務用ビデオ。16mmカメラなどである。屋上で観測した人は約50名。あとは、テニスコート、庭などで見ていました。11時30分気温30°、今度は東側の空でスコールがきている。雲を通してだが、部分食は良く見える。11時50分雲が厚くなってきている。「だいじょうぶ、雲は切れるから」「フィルム入れかえて、シャッタースピード確認して」と声をかける。11時58分「あと48秒」添乗員の声が良く聞える。薄雲を通しベリービーズが美しく見えると同時に「ウワー」という声で皆既になった。空全体厚い雲なのに太陽の回りだけが雲が薄い。南北のプロミネンス、内部コロナの流線が雲の中で大変良く見える。気温27°雲が厚くなりコロナが見えなくなる。「あと1分、59.58…」情景写真を撮りながら「空全体見てね、夕やけみたいよ」と声をかける。南側の地平線上は良く晴れている。「10km南へ移動したら晴れたかな…」心の中でつぶやく。「あと30秒」の声と同時に明るくなった。思わず「早い」「おかしいね」の声が上がる。第4接触を待たずに記念撮影、全員きれいだったと満足げみ。

明日から楽しい観光旅行が始まる。ティオティワカン遺跡、ユカタン半島、チチェンイツァ、メリダの町、グランドキャニオン、ディズニーランド。最後の打ち上げパーティーでは、「ブルーに行くぞ」の声が上がる。また札幌からツアーが作れるといいなと思いつつ楽しい思い出を胸に7月20日夕方気温17°の札幌に着いた。

最後に第1、第2接触の時刻は予報と同じなのに第3接触の30秒早いのは疑問が残った。帰国後のビデオテープの時刻も同じく30秒早い。



アサヒペンタックスMX
高橋P2型赤道儀FC6.5cm
フジカラーHG100 1/2秒

アサヒペンタックス20mm F2.8
1/16秒 フジカラーHG1600



第3接触後の記念写真
16名+添乗員+日本人ガイド